

自尊感情が低い 日本の子どもたち

日本の子どもの自尊感情は、他国と比較して低い傾向にあります。2011年に行なわれた「日・米・中・韓4か国の調査」（財団法人日本青少年研究所）では、「私は価値のある人間だと思う」「私は自分を肯定的に評価する」などの自尊感情を示す項目で、日本の高校生がもつとも低い結果になりました。



自尊感情が極端に低いと積極的な生き方が難しくなり、将来に対する目標や夢を描く力や追求する力が弱くなることも考えられます。また、問題に直面したときの解決力も低下します。たとえば、解決目前であっても諦めてしまったり、混乱して解決の糸口を見つけれないまま、さらに悪い状況に陥ったりする場合もあります。逆に自尊感情が高い人は、混乱しても早く立ち直り、状況を打開するための適切な判断が下せる力を強くもっています。